

2018年3月期 第1四半期決算について

2017年8月4日



本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

- **連結決算の状況**
- **トピックス**
- **セグメント別の状況**
- **「都市鉱山からつくる！
みんなのメダル プロジェクト」**
- **Appendix**

- 増収・増益
- 年間計画に向けて順調な滑り出し

連結決算状況

➤ 営業収益	:	2兆8,098億円	(対前年 + 930億円 [+ 3.4%])
➤ 営業利益	:	4,916億円	(対前年 + 42億円 [+ 0.9%])
➤ 四半期（当期）純利益 ^{*1}	:	2,715億円	(対前年 + 278億円 [+ 11.4%])
➤ 海外売上高	:	46.0億ドル	(対前年 + 8.0億ドル [+ 21.2%])
➤ 海外営業利益 ^{*2}	:	1.9億ドル	(対前年 + 0.6億ドル [+ 43.1%])

*1 四半期（当期）純利益は、当社に帰属する四半期（当期）純利益（非支配持分帰属分控除後）を記載しております。

*2 買収に伴う無形固定資産の償却費等、一時的なコストを除いた営業利益を記載しております。

● ネットワークサービスの収益力強化

➤ ユーザ基盤の拡大

・ モバイル契約数 : 7,511万 (純増+23万)

(再) カケホーダイ&パケあえる : 3,834万 (純増+128万)

・ FTTH契約数 : 2,029万 (純増+24万)

(再) コラボ光 : 957万 (純増+83万)

➤ Wi-Fiエリアオーナー数の拡大*1 : 612 (純増+55)

➤ コスト削減(固定/移動アクセス系) : ▲6,820億円〔累計*2〕(当四半期 ▲280億円)

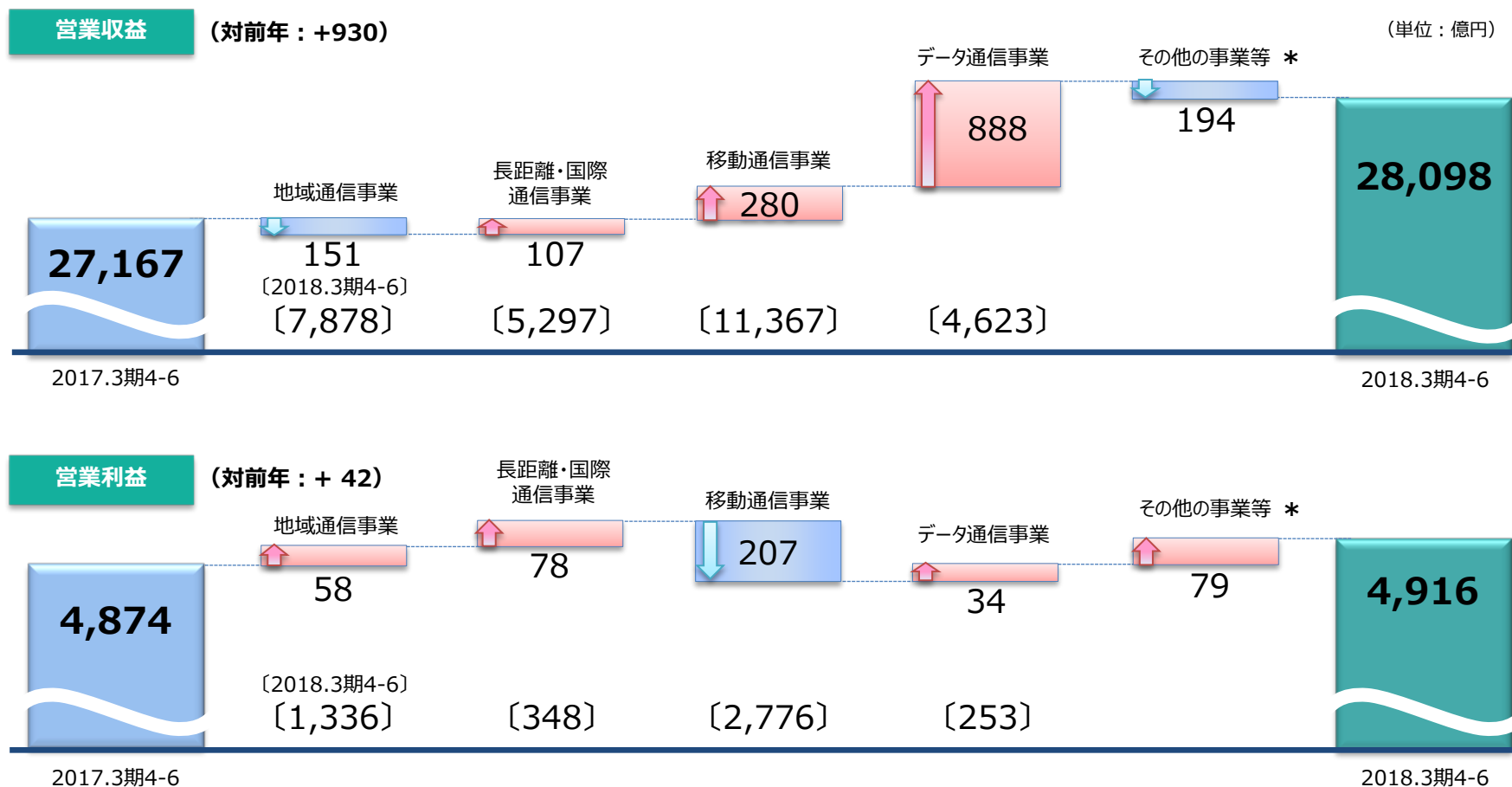
● B2B2Xモデルの推進

➤ スポーツ、農業等の様々な分野で、NTTグループ各社が、AI・ビッグデータ・IoTを活用し、他社との実証実験・協業を拡大

*1 小規模飲食店等を除く、大手企業ユーザ・自治体の顧客数

*2 対2015年3月期

■ 長距離・国際通信、データ通信セグメントで増収増益



* セグメント間取引消去・その他を含む



東京2020大会で使用するメダルを、使用済み携帯電話等の小型家電等から製作する
オリンピック・パラリンピック史上初の国民参画型プロジェクト

主催者 : 東京2020組織委員会

共催機関 : NTTドコモ、(一財)日本環境衛生センター、環境省、東京都



ドコモ／NTTの取り組み状況

➤ 2017年4月 プロジェクト開始

- ・全国のドコモショップ(約2,400店舗)において回収を開始

※4/1 東京2020組織委員会スタートイベント@ドコモショップ東京駅大手町店

特別ゲスト : 松田丈志氏 (オリンピック・競泳/3大会連続メダリスト)
山田拓朗選手 (パラリンピック・競泳/リオ大会メダリスト)

➤ 法人企業回収、各種イベントでのPR・回収活動

- ・オリンピック・パラリンピックパートナーを中心に回収が拡大
- ・東京2020公認プログラム等のイベント参加

(例)「ジャパンウォーク in SENDAI」「GOLD SPORT DAY 2017」

➤ 「ケータイリサイクル教室」の新設 (7月～)

- ・小学生対象、6年生1学年での合同授業実施

※プロジェクト紹介、リサイクル学習、ご家庭の使用済み携帯電話回収 等

➤ 第1四半期の累計回収台数 74万台



プロジェクトポスター



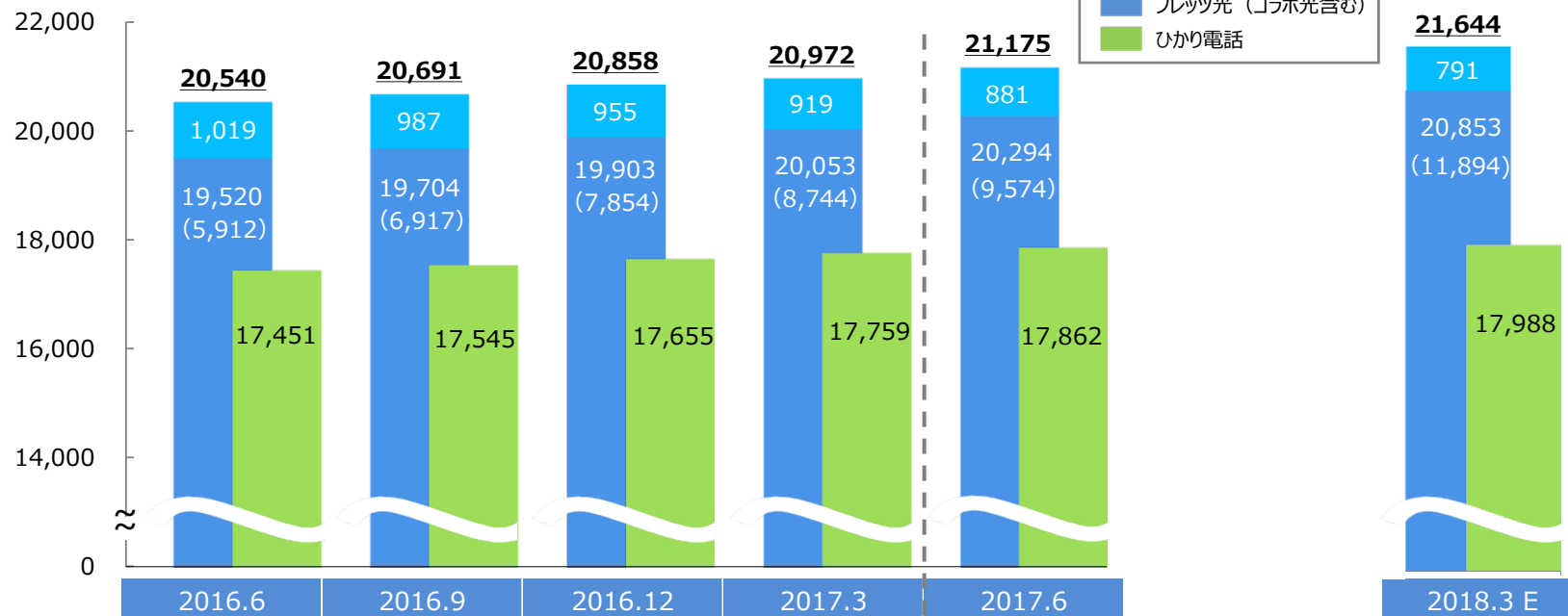
ケータイリサイクル教室

Appendix

ブロードバンド・サービスの進展

固定ブロードバンドの契約数

契約数 ※1※2 (単位：千契約)



対前四半期別純増(減)数 (単位：千契約)

	2017.3期				2018.3期	2017.3期 通期実績	2018.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6		
フレッツ光(コラボ光含む) ※1	261	183	199	150	241	794	800
開通数 ※3	786	649	672	750	851	2,857	2,900
フレッツADSL	▲ 34	▲ 32	▲ 32	▲ 36	▲ 38	▲ 134	▲ 128
ひかり電話 ※4※5	77	93	111	104	104	385	229

※1 フレッツ光(コラボ光含む)は、NTT東日本のBフレッツ、フレッツ 光ネクスト、フレッツ 光ライト、フレッツ光ライトプラス及びフレッツ 光WiFiアクセス、N T T西日本のBフレッツ、フレッツ・光プレミアム、フレッツ・光マイタウン、フレッツ 光ネクスト、フレッツ光マイタウン ネクスト、フレッツ 光ライト及びフレッツ 光WiFiアクセス、並びにNTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス（コラボ光）を含めて記載しております。

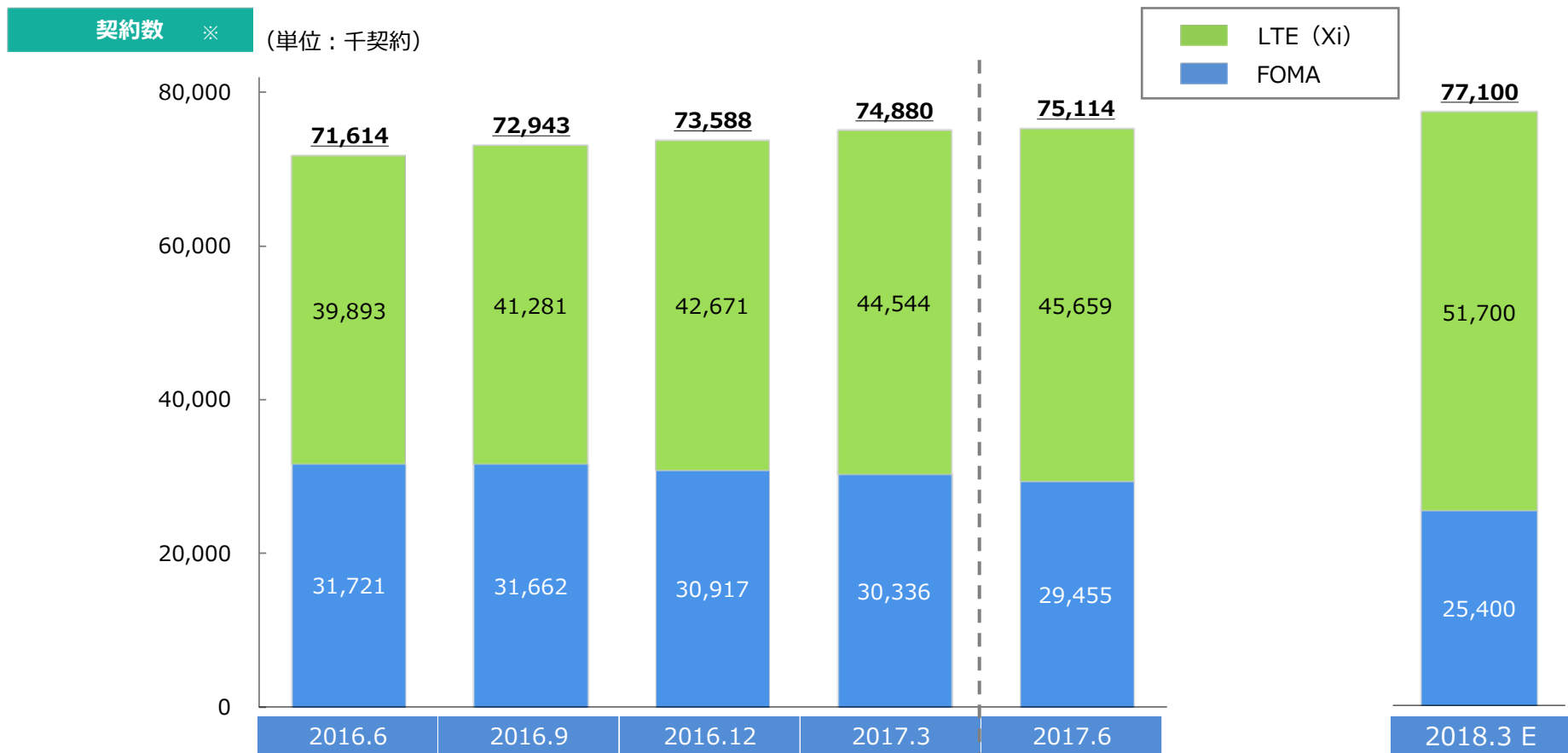
※2 NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービス（コラボ光）契約数を（ ）内に記載しております。

※3 開通数は移転による開通分を除いて記載しております。

※4 ひかり電話は、NTT東日本およびNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

※5 ひかり電話は、チャンネル数（単位：千）を記載しております。

移動ブロードバンドの契約数



対前四半期別純増数 (単位：千契約)

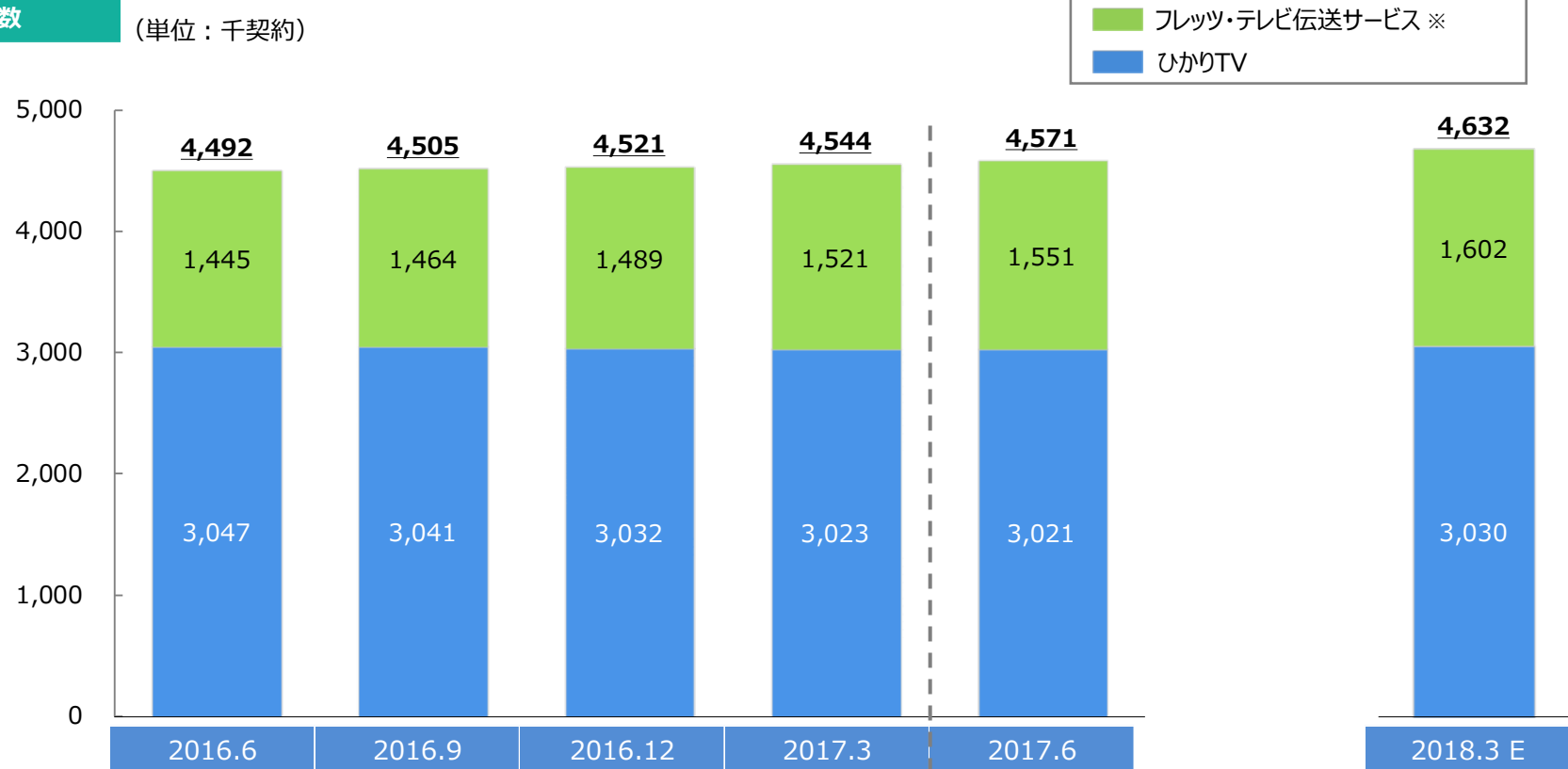
	2017.3期				2018.3期	2017.3期 通期実績	2018.3期 通期予想
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6		
LTE (Xi) +FOMA	650	1,330	645	1,292	234	3,916	2,200

※ 移動ブロードバンド契約数は、通信モジュールサービス契約数を含めて記載しております。

映像サービスの契約数

契約数

(単位：千契約)



※「フレッツ・テレビ伝送サービス」は、NTT東日本及びNTT西日本がサービス提供事業者に卸提供しているサービスを含めて記載しております。

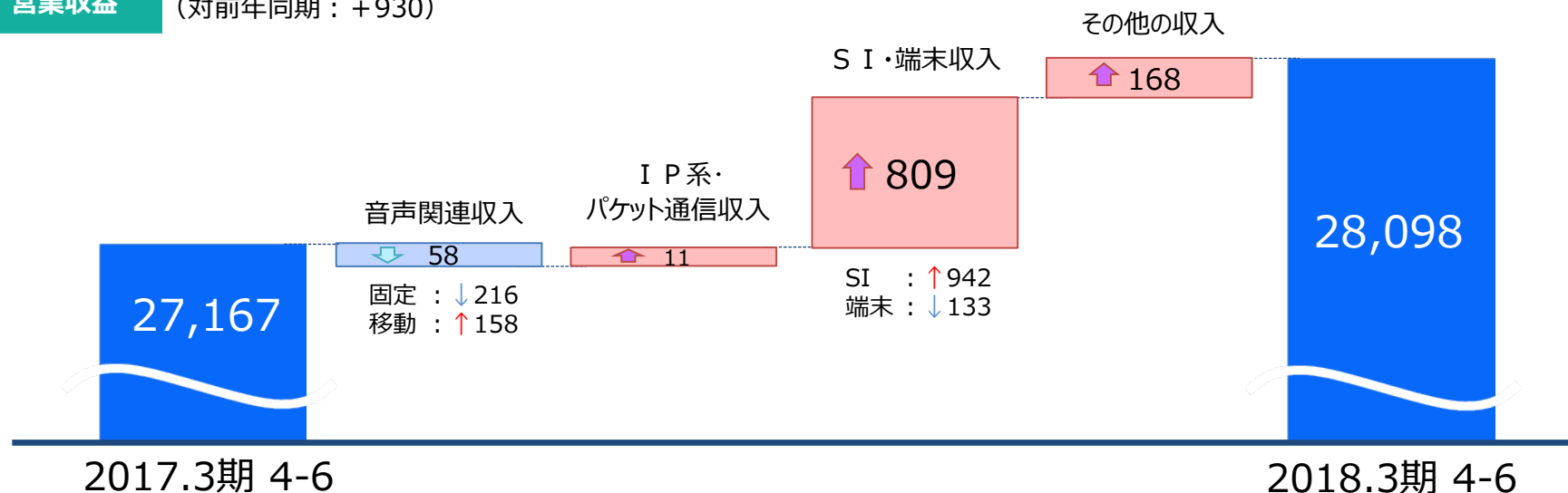
財務状況

連結損益計算書の状況

(単位: 億円)

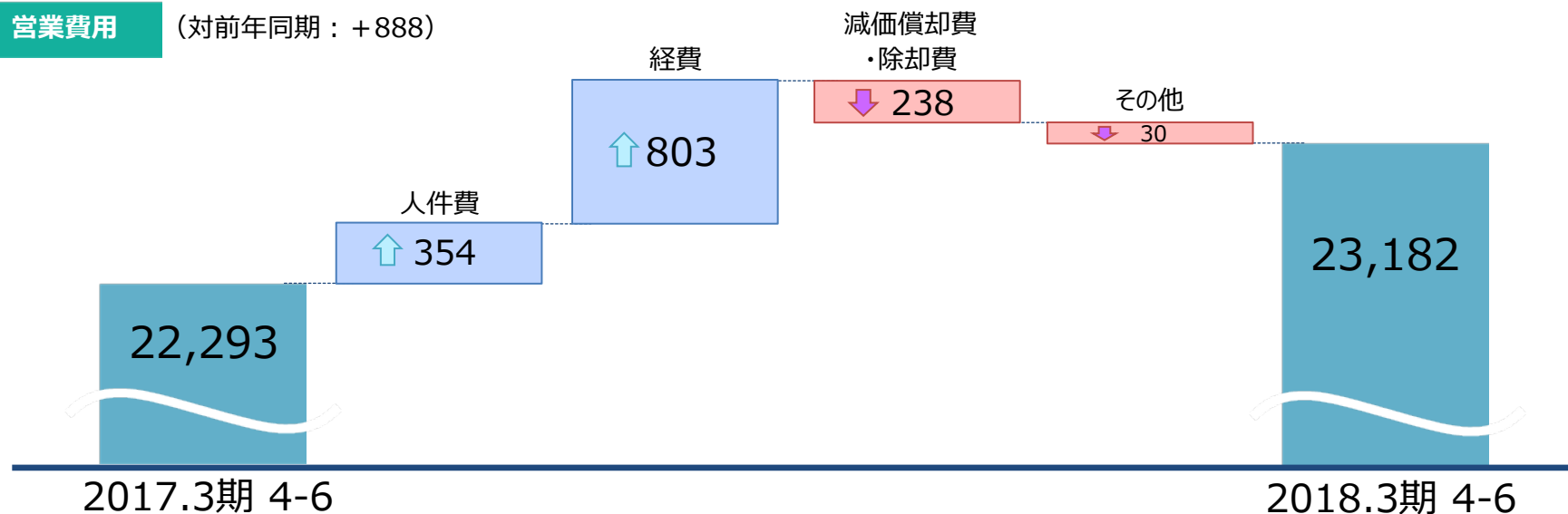
営業収益

(対前年同期 : +930)



営業費用

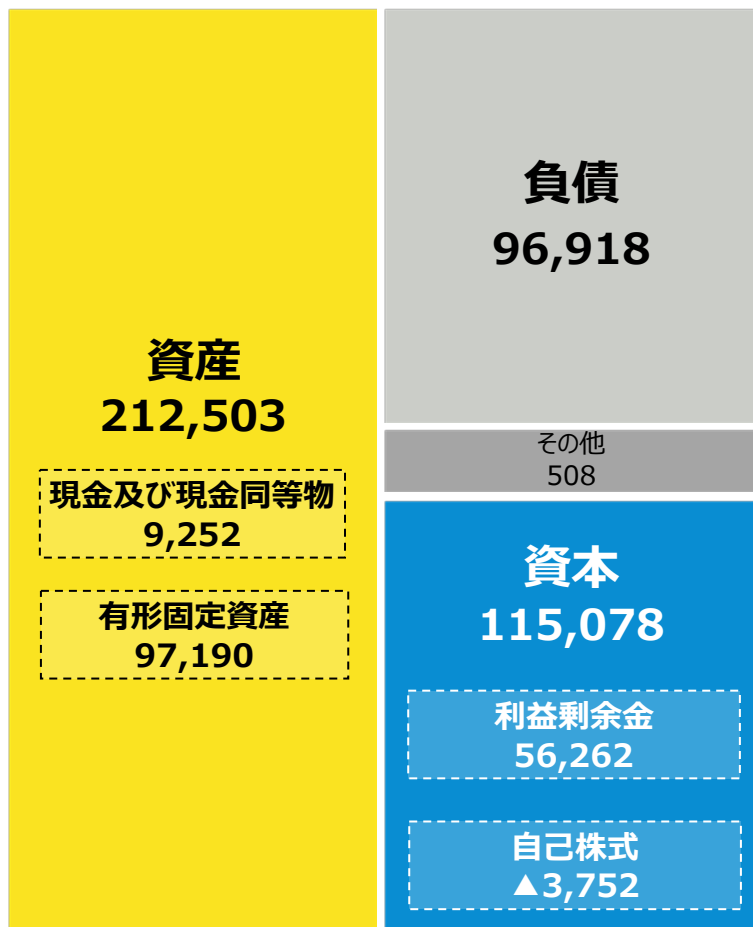
(対前年同期 : +888)



連結貸借対照表の状況

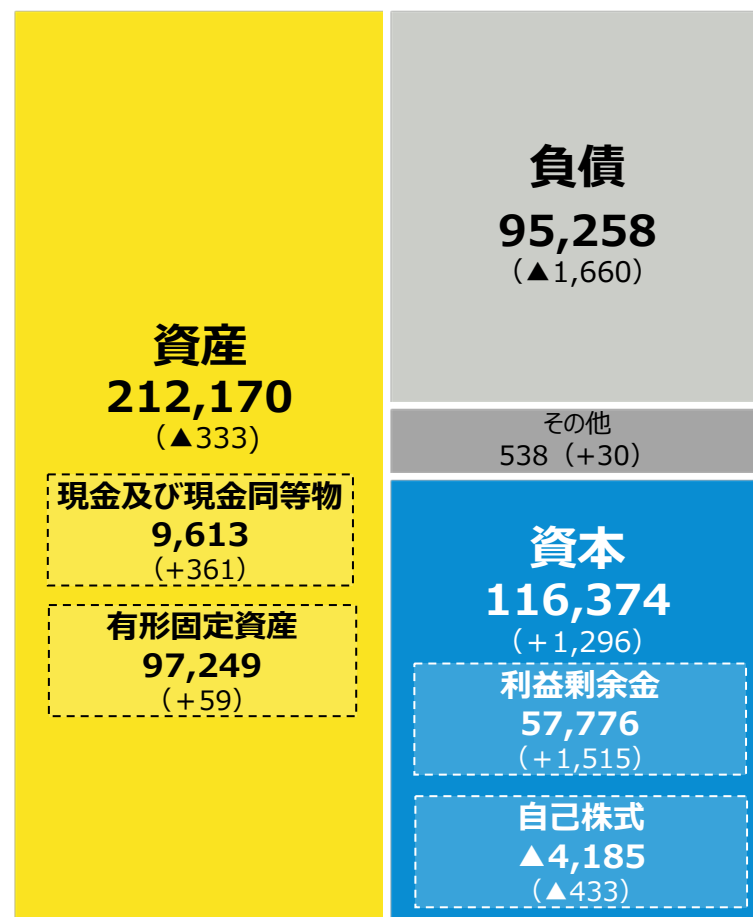
(単位: 億円)

212,503



2017.3期末

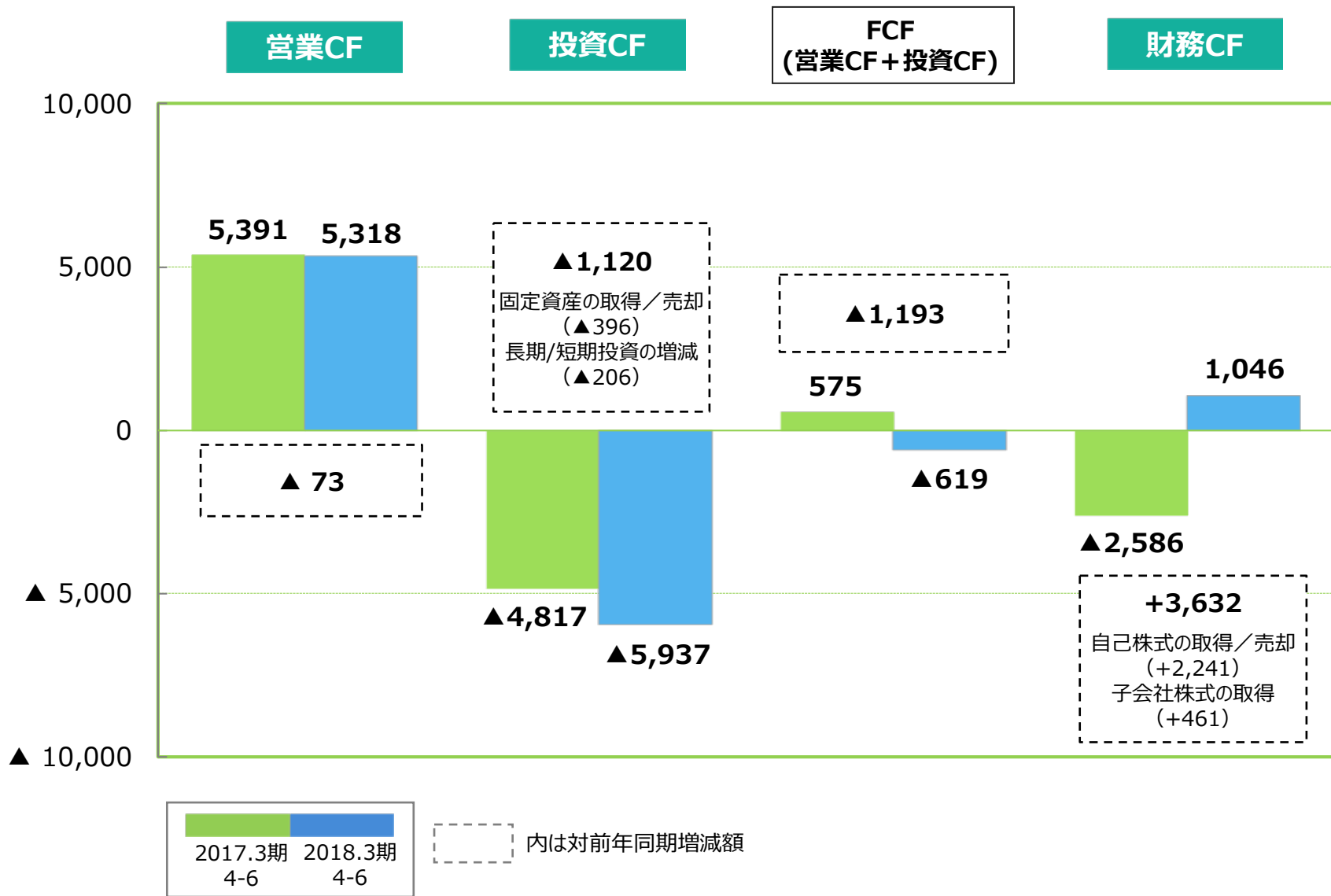
212,170 (▲333)



2018.3期 第1四半期末

連結キャッシュ・フローの状況

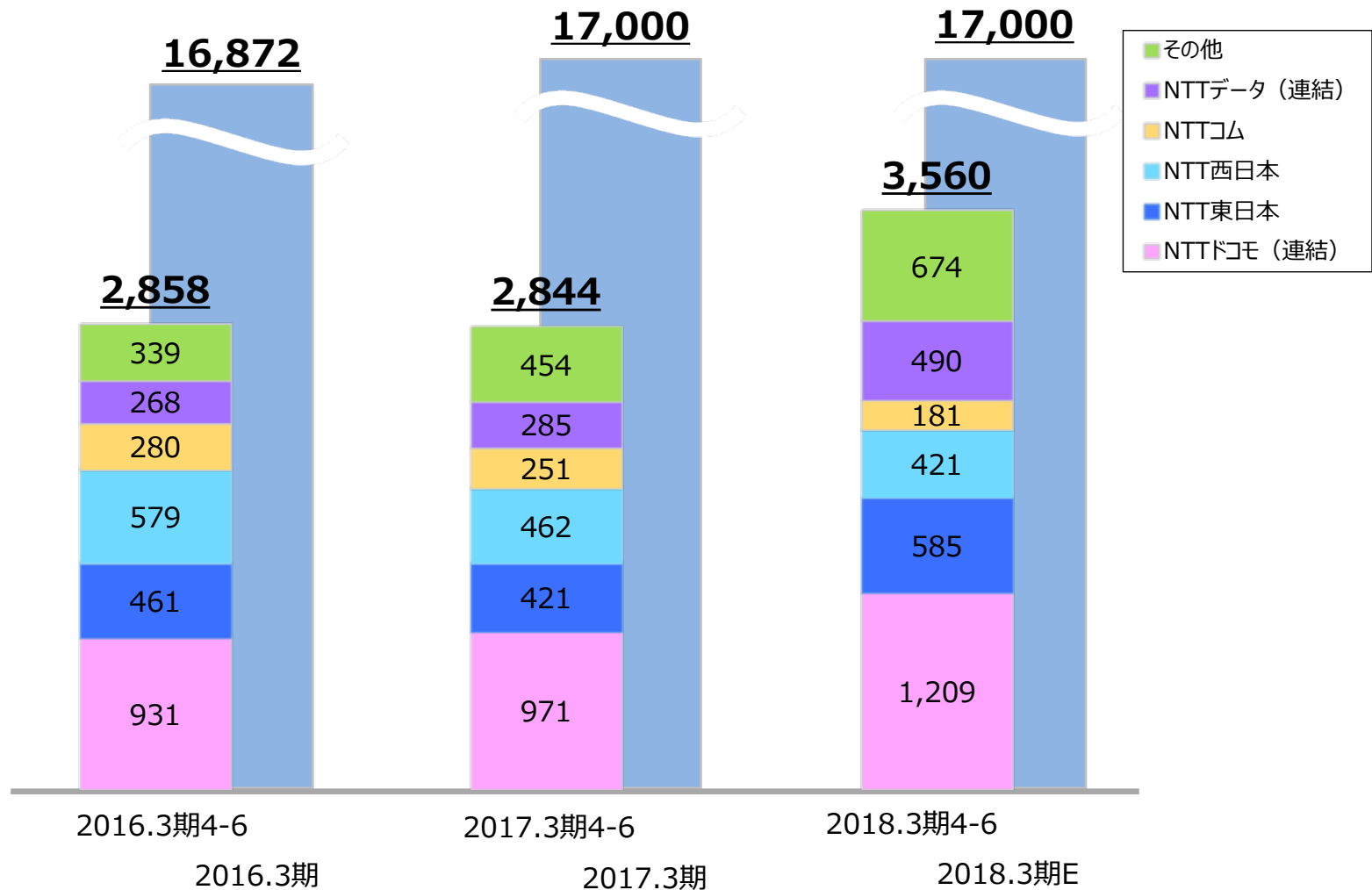
(単位：億円)



設備投資額の状況

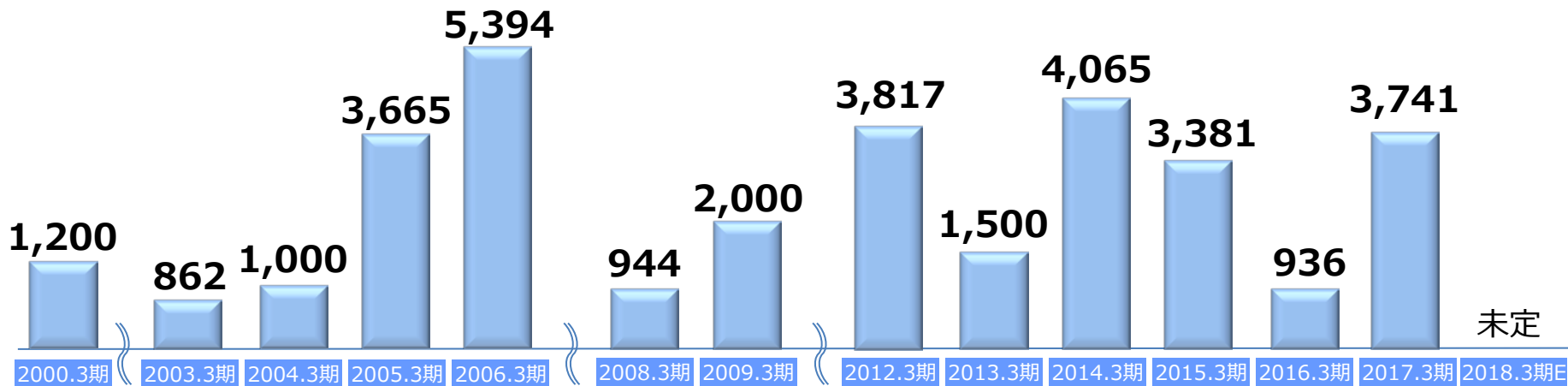
(単位: 億円)

設備投資



自己株式取得

(億円)



1株当たり配当額

—●— 配当性向

(円)

(注) 配当は、2015.7.1を効力発生日とした株式分割後（普通株式1株を2株に分割）の値に調整しております。

